

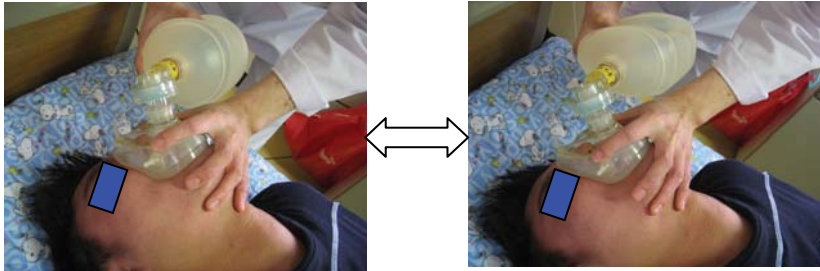


# 蘇生バッグの使用方法

蘇生バッグは以下のような時に使用します。

- 呼吸困難がある時
- 停電や故障で人工呼吸器が停止してしまった時
- 呼吸理学療法

## 蘇生バッグの使用手順

手順	図
<p>顎を挙上し気道を確保します。肩枕を用いるのも良いでしょう、また口腔・鼻腔の異物・痰を取り除いてから行います。</p>	 <p>The diagram on the left shows a sagittal view of a head being tilted back, with a label '肩枕' (shoulder pillow) pointing to the neck area. The photo on the right shows a person lying on their back with a white pillow under their shoulders.</p>
<p>マスクからの漏れがないようマスクを顔に密着させてください。 この時マスクを下顎に押さえつけて顎が下がらないように気をつけましょう。</p>	 <p>A close-up photograph showing a person's hands adjusting a clear plastic mask over a patient's nose and mouth. A blue rectangular box is placed over the patient's chin to indicate the mask's position.</p>
<p>1分間に10～20回の規則的なリズムで行います。常に胸の動きや顔色、爪の色、唇の色を見ながら有効に行われているか確認して下さい。</p>	 <p>Two photographs showing a person using the resuscitator on a patient. A double-headed arrow between the two photos indicates the timing of the breaths. Blue rectangular boxes are placed over the patient's chest in both photos to show the timing of the breaths.</p>

無理な力で空気を押し込むと肺が破れ、気胸を起こす原因となります。バッグを押す手に抵抗があるときは、気道確保や痰などの状態を確認し、無理に押し込まないで下さい。1回に押す量（換気量：おおむね体重の10倍程度）は主治医・看護師から説明します。十分に練習を行い、手応えを覚えて下さい。

1回に押す力がわかる器具を取り付けて練習します。



## 蘇生バッグの使用方法／チェックリスト（カルテ保管用）

患者氏名（ ）

評価基準 ○：できている

×：できていない（再指導が必要）

	チェック項目／日にち	/	/	/	備考
知識	1、蘇生バッグによる人工呼吸の必要性が言える				
	2、注意点が言える				
手順	1、操作しやすい環境が準備できる				
	2、気道確保ができる				
	3、蘇生バッグの操作ができる				
	1) 2人で行う場合、役割分担ができる				
	2) 声掛けをしながらできている				
	3) 速度・回数は適切である				
	4) 換気量は適切である				
	5) マスクを密着できている（顎を押さえ込まない）				
	4、胸郭の動きを確認しながら実施できている				